

教科(科目)	公民(現代社会)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	1 年生
使用教科書	実教出版 「最新現代社会 新訂版」			授業形態	必修
副教材等	帝国書院 「ライブ!現代社会2020」				

1 学習目標

現代社会の諸問題について、政治・経済・社会などのさまざまな観点から理解を深め、時事的な事柄と関連させながら、現代社会に対する興味・関心を高める。

2 指導計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1部 私たちの生きる社会 1章 地球環境問題 2章 資源・エネルギー問題 3章 生命科学と情報技術の課題	・現代社会における諸課題,特に生命,情報,環境を扱う中で,社会の在り方を考察する基盤としての幸福,正義,公正などの枠組みについて理解する。	6	・中間考査 ・期末考査 ・課題提出
5	第2部 現代の社会と人間 1 現代の社会生活と青年 1章 自分らしく生きる 2章 人間としてよく生きる	・自己理解を進め,自己形成の課題を考察し,勤労観・職業観を含め,どのように社会参加を果たしていくのか,など自らの人間としての在り方生き方について考察する。	4	10
6	2 現代の民主政治と日本国憲法 1章 現代国家と民主政治	・人権の保障, 国民主権, 議会制民主主義, 権力分立, 法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め, 主権者としての意識を身に付ける。	6	
7 8				
9	2章 日本国憲法の基本原理	・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障, 平和主義について理解を深め, 生命の尊重, 自由・権利と責任・義務, 人間の尊厳と平等などについて考察する。	12	・中間考査 ・期末考査 ・課題提出
10 11	3章 日本の政治機構と政治参加	・国会・内閣・裁判所について組織・機能・国民生活との関わりを学習する。	8	
12	3 現代の経済社会と国民生活 1章 現代の経済社会	・現代の経済社会について理解を深める。 ・市場機構の機能と限界を理解して, 市場の問題点を考察する。個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連, 政府の役割と財政, 租税, 金融について理解を深め, 日本の経済政策の方向性を考察する。	6	
1	2章 日本経済の特質と国民生活	・日本経済がどのように成り立っているか理解する。 ・日本の雇用, 労働, 社会保障について理解を深め, 今後の在り方について考察する。	10	・学年末考査 ・課題提出
2	4 国際社会と人類の課題 1章 国際政治の動向	・グローバル化が進展する国際社会の政治の動向を理解する。国際法の意義, 人種・民族問題, 核兵器と軍縮について理解する。 ・国際社会における日本の果たすべき役割や生き方を考察する。	8	
3	2章 国際経済の動向と国際協力	・国際社会における貧困・格差について理解する。 ・先進国日本の国際社会で果たすべき役割について考察する。		

3 評価規準と評価方法

計 64 時間 (55 分授業)

項目	内容	評価方法
関心 意欲 態度	現代社会の諸事情に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	・授業態度 ・発問への応答 ・課題提出 ・定期考査 ・言語活動 ・参加型学習
思考 判断 表現	現代社会の諸事情を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	
資料活用 の技能	統計などの諸資料からを収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	
知識 理解	現代社会に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	